



山本敏夫撮影

# 出会い・ふれあい・支えあい

## 広げて20年を迎えました

### ～地域に咲かそう医療生協の花を～



八戸医療生活協同組合  
〒031-0001  
八戸市額家5丁目38-20  
発行責任者 内田弘志  
Tel.0178-71-3456

20周年を迎える新年にあたって

医療・福祉を私たちの手で

八戸医療生協理事長 竹本照彦

二〇一〇年、明けましておめでとうございます。

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

「民主的な医療機関がほしい」との願いから、発起人

と深く感謝申し上げます。格差と貧困が広がるなか、

スタートした八戸医療生協は、この一月二十一日、九千

「いのちの平等」を掲げる医療生協の出番だと言われま

### 支部運営を要に!

一支部長 一山鈴夫



医療生協の支部づくりは、診療所開設から数か月後には五支部が発足。役員(世話役)は十人、一

十人ぐらいで三十代、四十代の働き盛りの人がほとんどで退職者は少なかったと思いま

「馬肉汁」「焼きそば」など多彩な取り組みを続けてきました。いっせいで訪問行動による仲間増やしなどもあり、いつのまにか組合員数一、二七〇

二〇周年、おめでとうございます。竹本理事長はじめ、職員の皆様の日々のご活躍に心から感謝申し上げます。

### 私が期待すること

石戸育子

二〇周年、おめでとうございます。竹本理事長はじめ、職員の皆様の日々のご活躍に心から感謝申し上げます。

話になりつつあります。特に姑の事では竹本先生はじ

### いざという時の安心を求めて二十年



生協診療所 1991年2月1日開設  
訪問看護ステーション虹 1998年1月5日開設



生協ケアセンター 1998年12月1日竣工  
通所リハビリテーション 1999年4月1日



通所介護さるかどした 2006年7月1日開設



小規模多機能ホーム「みなみるいけの家」 2009年1月1日開設



居宅介護支援事業所② 二〇〇八年八月一日開設



八戸医療生協組合センター 2008年10月1日オープン  
居宅介護支援事業所① ヘルパーステーション 2000年4月1日開設

め看護スタッフ、ケアマネージャーの方々を支えていたいただきました。重度の認知症に

◇診療所土曜休診日◇  
(毎月最終土曜日)

1月30日
2月27日
3月27日

### 虹の旗

あけましておめでとうございます。何か良いことがたくさんある一年にしたいですね。

虹の旗... あけましておめでとうございます。何か良いことがたくさんある一年にしたいですね。私にとってそのよいことの一つが楽しい班会です。私は大館支部かすみそう班会です。五〇代から八〇代の組合員さん八人の班です。三年ほど前から同じ支部のさるすべり班と合同で年四回集まっています。場所は組合センターが近いので大助かり！





**小菊班会（長者支部）**  
11月27日大杉平集会所で109回目の班会。14人参加。健康チェックの後、職員の大坂ケアマネを講師に「介護保険」について勉強。



**一中支部第六回ふれあい昼食会**  
十一月十九日吹上公民館ホール。初参加十六人を含む五〇人の集いに。小規模多機能ホーム「みなみるいけの家」について、荻沢所長のお話について、研修医の岡野奈穂子先生（右写真）のあいさつ。セラバンド体操、ハーモニカ演奏と多彩。お昼は手作り料理。お品は舌鼓。最後は八幡駒の輪踊りでフィナーレ。



**山の会 発足10周年を祝う**  
11月7日第2ワシントンホテルに55名が集い、10年間の山行の思い出に花を咲かせました。



**大館支部 調べ会**  
11月25日大館支部で琴クラブ「調べ会」誕。当面月2回の例会を重ねながら仲間増やしを。お気軽にどうぞ。

# 組合員活動あらかると



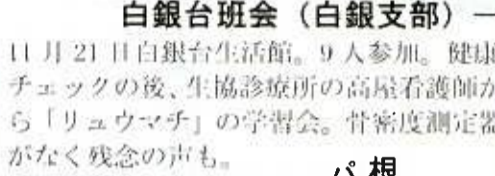
**白山台班会（根城支部）**  
11月6日東奥はちのへホールで。15人参加。うち初めてのお二人が地域外の友人3人（未組合員）を誘って参加。健康チェック、ストレッチ体操、お茶会で楽しく交流。



**長根・小待班会（二中支部）**  
11月29日長根生活館。前号で紹介した「とうふを使ったアイデア料理レシピ集」をさっそく実践。「豆腐のお好み焼き」など家族に喜ばれそう。※レシピご希望の方は本部へどうぞ。



**三中支部 秋のレク・侍の湯温泉**  
10月23日久慈市侍の湯へ。未組合員を含む35人が参加。インフルエンザのミニ勉強会の後、入浴・食事・歌や踊りと楽しいひととき。



**白銀台班会（白銀支部）**  
11月21日白銀台生活館。9人参加。健康チェックの後、生協診療所の高屋看護師から「リュウマチ」の学習会。骨密度測定器がなく残念の声も。



**根城支部 パークゴルフ大会**  
10月18日ウェルサンピアゴルフ場で5回目の開催。秋空の下20人が熱戦を展開。

## 政権が変わって 社会保障

どうなる？ どうする？ 社会保障

○日時 二〇一〇年二月二十日（土）午後一時～四時半

○場所 医療生協組合センター

○内容 ①中央社会保険学校参加報告 ②講演「政権変わって、どうなる？ どうする？ 社会保障」

講師 県社保協事務局長 小池 中氏

**資格証明書書帯に 短期保険証交付**

八戸市は十一月十五日、新型インフルエンザ対策の緊急措置として十二月十七日から一月三十一日まで国保の資格証明書交付世帯に対して短期保険証を交付する旨の通知を出しています。受診抑制による重症化を防ぐ対策として、十一月二十四日の自治体訪問で要請したほか、十二月市議会でも松田勝議員が一般質問で取り上げていました。

**安心できる医療等で 自治体訪問**

三八社会保険推進協議会（内田弘志会長）は十一月二十四日から二十七日まで三八地区七市町村を訪問し、後期高齢者医療、国保、子どもの医療費、介護保険、生活保護、自殺予防等の問題について懇談しました。

**資格証明書書帯に 短期保険証交付**

八戸市は十一月十五日、新型インフルエンザ対策の緊急措置として十二月十七日から一月三十一日まで国保の資格証明書交付世帯に対して短期保険証を交付する旨の通知を出しています。受診抑制による重症化を防ぐ対策として、十一月二十四日の自治体訪問で要請したほか、十二月市議会でも松田勝議員が一般質問で取り上げていました。

**組合員さんの文芸**

◆山茶花の上に山茶花散る日かな  
◆測景士かけあふ声や山眠る  
◆木瓜の実の五つ六つ程色づきて  
◆夕暮れの灯びちらほら散歩道  
◆勤労を感謝したくも職はなし  
◆年よりをあやすナースは母の声  
◆年金も月六万で生きられず  
延弘（上長支部）



**「核兵器のない世界を」の署名にご協力ください**

前号の「さるかどした」に署名用紙を同封しています。来年五月に国連へ持参し、核兵器保有国の代表に届ける署名です。家族を含めてだれでも署名できます。

**新入職員紹介**

小清水 とし子  
ヘルパーステーションヘルパーの仕事ははじめてですが、皆様のお役にたてるよう頑張ります。

浦邊 玲子  
小規模多機能・看護師はじめまして！早くみなみるいけの家の家族になれるよう頑張ります。

## 2月14日(日) 市公会堂文化ホール ①10:30 ②14:00 ③18:00

☆前売券 大人1000円(当日1500円)・小中高500円(当日800円) (プレイガイド) 三春屋・ラピア・生協窓口※医療生協各支部



**医療生協創立二十周年記念映画鑑賞会開催**

「いのちの山河」日本の青空Ⅱ

「いのちの平等」「健康に生きる・平和に生きる」を掲げる八戸医療生協も賛同して製作された映画です。組合員のみならず、誘いあつてぜひ観にいきましょう。県内初公開です。

**老人医療費無料化 乳児死亡ゼロ実現**

―岩手県沢内村―

長い間、無医村で豪雪・多病・貧困にあえぐ沢内村（現西和賀町）。一九五七年初当選の深沢辰雄村長は「生命尊重こそが政治の基本でなければならぬ。住民の生命を守るために、私のいのちを賭けよう」と『生命行政』正面から立ち向かう。憲法25条生存権の保障を武器に国や県とたたかう。国がやらないなら私がやる。国は後からついてくる。と。一九六〇年に65歳以上の医療費無料化、翌年60歳以上と乳児医療費無料化、一九六二年には全国で初めて乳児死亡率ゼロを達成。国が老人医療費無料化に踏み切ったのは一九七三年であった。しかし、国は一九八三年に再び有料化に...

◆試写会から◆  
○すごく感動しました。涙、涙、涙...  
○すごくかにか生まれ、すこやかに育ち、すこやかに老いる。村政をどのようにして全国に先駆けて実現させたか「いのちの山河」の意味がよく伝わりました。  
○「いのちに格差があつてはならない」という深沢村長の「生命行政」を過去のものにしてはならないと強く思いました。  
○映画を見ながら後期高齢者医療制度への怒りが込み上げてきました。  
○八戸医療生協の名前が製作協力団体として写し出されてうれしかったです。

主催：映画「いのちの山河」を観る八戸の会（連絡先）八戸医療生協Tel71-3456  
後援：八戸市・八戸市教育委員会・東奥日報社・デーリー東北新聞社・県生協連・県保険医協会